

<デザイン・建築学課程>

日 程	12月2日(土) 午前
プログラム	講義・レポート作成
ね ら い	講義内容の理解力、整理分析能力、論理的思考能力、日本語表現能力をみる。
要 約	<p>伝統技術と現代技術は、深く考察することで両者の間に関係性を築くことが出来るという主旨で、伝統的な技術の例として日本の伝統的な五重塔の構造、現代の最先端技術の例として東京スカイツリーの耐震構造について講義した。</p> <p>五重塔については、心柱と塔体の歴史的意味と、それによってもたらされた構造の特徴について講義した。東京スカイツリーについては、現代の地震対策技術の特徴と、東京スカイツリーに用いられた五重塔からヒントを得た制震システムの特徴について講義した。</p> <p>最後に課題として、五重塔と東京スカイツリーそれぞれの構造について、講義内容を纏めさせた。</p>

日 程	12月2日(土) 午後
プログラム	課題提示・グループディスカッション
ね ら い	問題分析力、プレゼンテーション能力、独創性、意欲、リーダーシップ、協調性をみる。
要 約	<p>「環境と人間」をテーマに、A・B二種類の課題とし、A課題の部屋とB課題の部屋の両方でディスカッションを行い、両課題の結果を総合して判定した。</p> <p>A課題では、1970年代にアメリカで計画された、都市空間におけるプラスチックの木の植樹を紹介し、その計画の功罪について、①環境世界における自然と人工のあるべき関係、②その関係についての、人々の感じ方の時代的な変化、③環境世界における人間の役割について、全体ディスカッションを展開した。</p> <p>受験生の一人当たりの発言回数は、2～3回となるように調整した。</p> <p>B課題では、技術の進歩にともなって生活環境を変えて行っていることに関して、私たちの生活環境をどうすればよいと考えるのか、そして、それを広めるための標語をグループで議論し、協力しあって作るという課題を課した。この課題に対して、グループディスカッションを行い、グループで考えた標語の発表とその説明をさせた。</p>